

平成17年度 第2号
2005年12月31日発行

近畿地方会ホームページ
www.kinkireh.com

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会事務局
独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
リハビリテーション科 住田 幹男

お問合せ先
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-1
プロメナ神戸16階
株式会社プロアクティブ内
TEL:078-366-5050 FAX:078-366-5051
E-mail: kinkireh@pac.ne.jp



昨年の日韓合同リハビリテーションカンファレンス2004京都の開催、運営にあたりましては、日本リハ医学会近畿地方会会員の皆様方の御協力に心より感謝申し上げます。日韓を中心に540名を越える医師が参加し、成功裡に終えることができました。

さて、この度、平成19年6月に第44回日本リハビリテーション医学会学術集会在近畿で開催されることになり、私が会長に指名されましたので、学術集会開催にあたっての決意を近畿地方会会員の皆様方にお伝えしたいと思います。

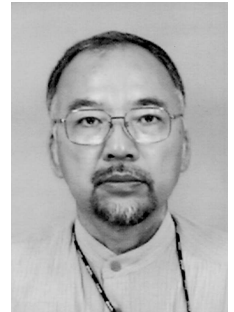
21世紀に入り、政治、経済をはじめ世界中の各分野で大きな混乱と変革、さらに価値観の多様化と相克が起こっています。これらは日本における保健・福祉・医療の現場においても例外でなく、医療システム、医学教育、専門医制度、各種関連専門職との連携、リスクマネジメント、医療倫理、介護保険、障害者医療の様々な領域で大きな変革期を迎えています。

この様な混乱と変革の時代において私は、福沢諭吉が明治維新という時代背景のなか、学問のすすめという著書の中で“実学の用”を説いていることを思い起こします。そしてこれは、現在においても決して意義を失っていません。私はリハビリテーション医療・医学の本質は“実学”にあると信じていますので、リハビリテーション医学の原点である“実学”に立ち返り、基礎を踏み固め、激しく変化している医療のなかで、リハビリテーション医学のさらなる飛躍に向けての準備と発展の方向性を見出していくことが、私たちの緊要の課題であると考えています。

第44回学術集会の基調は、1. 医療変革期における“実学”としてのリハビリテーション医学の課題とその解決に向けたシ

第44回日本リハビリテーション医学会の開催へ向けて

日本リハビリテーション医学会
近畿地方会 代表幹事
住田 幹男
(関西労災病院リハビリテーション科)



ンポジウム、2. リハビリテーション医療・医学の基礎を固めるための実技・研修コースの設定、3. リハビリテーション医学の国際化:IRMA 8, Millenniumシンポジウム、日韓合同カンファレンスの成果を引き継ぎ、同時期に前後して韓国で開催される2007年ISPRM国際学会との協調による、アジアを中軸としたリハビリテーション医学国際交流の推進の3点にしたいと考えています。

故水野祥太郎先生が近畿の地で開催され産声を上げたリハビリテーション医学会を再び近畿の地で、とりわけ阪神・淡路大震災後の復興した神戸で開催できることは私たちにとって大きな喜びです。また、同時期に大阪で開催される日本医学会総会の一環として日本の医学・医療の発展に寄与していきたいと思ひます。

私は近畿地方会の代表幹事として、第44回日本リハビリテーション医学会学術集会在近畿地方会にとって有益な学術集会上にしたいと切に願っています。今回の学術集会会長指名には、近畿地区のリハビリテーション医への全国からの期待が込められており、近畿地方会のこれまでの成果を最大限に発揮し、全国にその存在をアピールする絶好の機会であると信じています。

学会開催は1年半後ではありますが、今から準備していく上で、学術集会の企

画・運営・参加の中軸となる近畿地方会の皆様方の協力は欠かせません。

何卒、本学術集会の趣旨をご理解いただき、日本リハビリテーション医学会近畿地方会の皆様のご厚情とご支援をお願い申し上げます。

第44回(2007年)日本リハビリテーション医学会学術集会

- テーマ 実学としてのリハビリテーションの継承と発展 副題 -医療変革とリハ-
- 会期 平成19年6月6日(水)~8日(金)
- 場所 神戸国際会議場および国際展示場

CONTENTS

- ・第44回日本リハビリテーション医学会の開催へ向けて…………… 1頁
- ・第20回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会会長挨拶…………… 2頁
- ・広告:川村義肢株式会社…………… 2頁
- ・第20回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会ご案内…………… 3頁
- ・近畿地方会教育委員会報告…………… 4,5頁
- ・広告:小野薬品株式会社…………… 5頁
- ・施設紹介
適寿リハビリテーション病院…………… 6頁
- ・日本リハビリテーション医学会近畿地方会専門医・認定臨床医生涯教育研修会カレンダー…………… 7頁
- ・Newsletter通巻第4号予告編…………… 7頁
- ・編集後記…………… 7頁
- ・広告:科研製薬株式会社
第一製薬株式会社…………… 8頁